

●平成27年度市バス・地下鉄事業全体総括

平成27年度は、「法令を遵守し、ヒューマンエラーの防止に努め、安全を第一に、安心・快適でより便利な交通サービスをお届けする」ことを基本に、安全運行の確保、快適でより利便性の高いサービスの提供などの施策に重点的に取り組むとともに、平成27年11月に「名古屋市営交通事業経営計画（2015-2018）」を策定し、計画に掲げた諸施策の推進に努めました。

その結果、両事業とも経常収支の黒字は確保できましたが、依然として多額の累積欠損金を抱えるなど、引き続き厳しい財政状況となっています。

平成27年度決算見込の概要は次のとおりです。

■市バス事業

<収益的収支>

平成27年度（見込）は、1日平均34万人のお客さまにご利用いただき、運輸収益は172億円となりました。また、広告料収入など運輸雑収は27億円、一般会計補助金など営業外収益は36億円で、経常収入は合計235億円となりました。

経常支出は、運転士をはじめとした職員の人件費が122億円、自動車燃料費や施設の修繕費など経費が85億円、減価償却費が9億円、支払利息など営業外費用が4億円で、合計220億円となりました。

この結果、経常収支は15億円の黒字、特別収支をあわせた純損益は21億円の黒字となりましたが、営業収支は17億円の赤字であり、また累積欠損金は403億円、債務超過は100億円と依然として多額となっています。

<資本的収支>

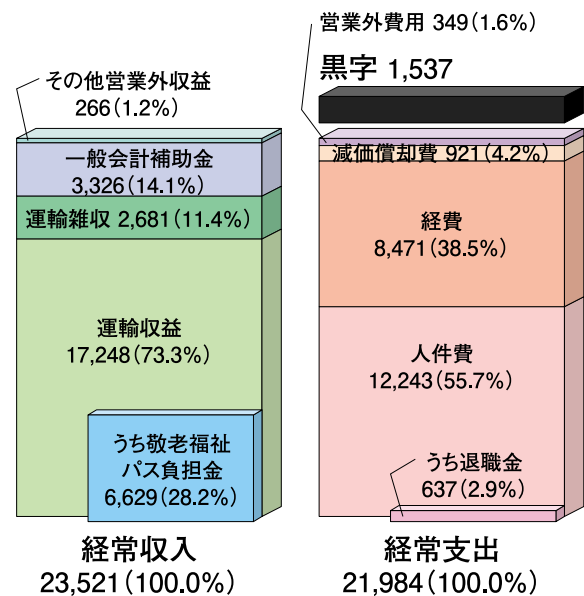
収入は、バス車両の購入費などにあてる企業債5億円など、全体で6億円となりました。

支出は、バス車両の購入など建設改良費が8億円、企業債の償還金が15億円、借入金の返還金が9億円で、合計32億円となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、減価償却費等の現金支出を伴わない支出から生じる留保資金等を充てています。

資金不足額は12億円となり、資金不足比率は6.1%となっています。

市バス事業の収支(27年度見込)

(税抜 単位:百万円)



27年度末の累積欠損金 40,296百万円

収益的収支

(税抜 単位:百万円)

区分		27年度見込
収入	営業収益	19,929
	うち運輸収益	17,248
	営業外収益	3,592
	うち一般会計補助金	3,326
経常収入		23,521
支出	営業費用	21,635
	うち人件費	12,243
	営業外費用	349
経常支出		21,984
営業収支		△1,706
経常収支		1,537
特別収支		583
純損益		2,120
累積欠損金		△40,296

資本的収支

(税抜 単位:百万円)

区分		27年度見込
収入	企業債	545
	その他	77
資本的収入		622
支出	建設改良費	798
	企業債償還金	1,445
	借入金返還金	922
資本的支出		3,165
資本的収支		△2,543
資金不足額		△1,222
資金不足比率(%)		6.1
企業債残高		2,521
債務超過		9,954

■地下鉄事業

<収益的収支>

平成27年度(見込)は、1日平均127万人のお客さまにご利用いただき、運輸収益は742億円となりました。また、広告料収入や資産の有効活用及び附帯事業収入など運輸雑収は65億円、一般会計補助金など営業外収益は104億円で経常収入は合計911億円となりました。

経常支出は、駅員をはじめとした職員の人件費が253億円、電車動力費や施設の修繕費など経費が174億円、減価償却費が245億円、支払利息など営業外費用が116億円で、合計788億円となりました。

この結果、経常収支は123億円の黒字となりましたが、特例債元金償還補助金を除いた実質経常収支は78億円の黒字となっています。また特別収支をあわせた純損益は113億円の黒字となりました。しかしながら、累積欠損金は2,646億円と依然として多額となっています。

<資本的収支>

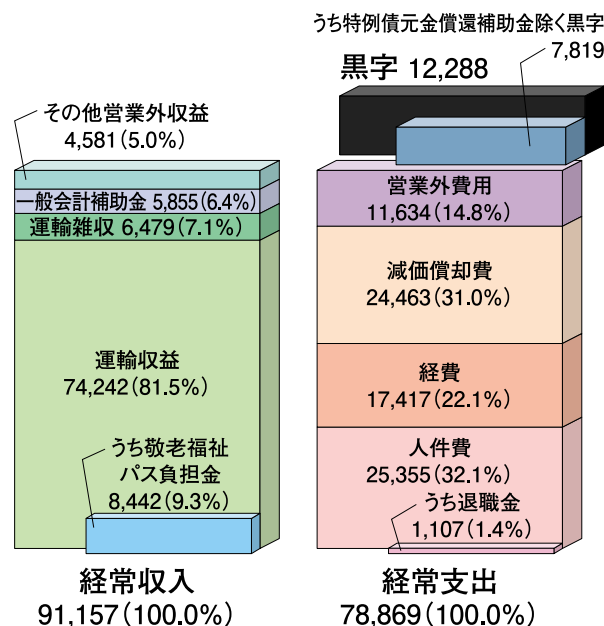
収入は、地下鉄東山線可動式ホーム柵の整備費などにあてる企業債156億円はじめ一般会計補助金21億円、一般会計出資金24億円など、全体で218億円となりました。

支出は、地下鉄東山線可動式ホーム柵の整備や地下鉄構造物の耐震補強など建設改良費が121億円、企業債・平準化債・特例債・緩和債の償還金が494億円で、合計615億円となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、減価償却費等の現金支出を伴わない支出から生じる留保資金等を充てています。

資金不足額は、121億円となっています。また、資金不足額に資金不足を補てんするための資金手当債(資本費平準化債、資本費負担緩和分企業債)の残高を加えた実質資金不足額は、2,399億円と依然として多額となっています。

地下鉄事業の収支(27年度見込)

(税抜 単位:百万円)



27年度末の累積欠損金 264,577百万円

収益的収支

(税抜 単位:百万円)

区分	27年度見込
収入	
営業収益	80,721
(うち運輸収益)	74,242
営業外収益	10,436
(うち一般会計補助金)	5,855
経常収入	91,157
支出	
営業費用	67,235
(うち人件費)	25,355
(うち減価償却費)	24,463
営業外費用	11,634
(うち支払利息)	11,288
経常支出	78,869
営業収支	13,486
経常収支	12,288
(特例債元金償還補助金)	4,469
(実質経常収支)	7,819
特別収支	△936
純損益	11,352
累積欠損金	△264,577

資本的収支

(税込 単位:百万円)

区分	27年度見込
収入	
企業債	15,589
一般会計出資金	2,387
貸付金返還金	522
一般会計補助金	2,075
国庫補助金	1,050
その他	215
資本的収入	21,838
支出	
建設改良費	12,186
企業債償還金	26,096
平準化債償還金	2,180
特例債償還金	4,469
緩和債償還金	16,613
資本的支出	61,544
資本的収支	△39,706
資金不足額	△12,054
資金手当債残高	227,857
実質資金不足額	△239,911
企業債残高	543,398